

「ここを、モノづくり天国にする」

一般社団法人ベンチャーフレンドリープロジェクト 発足のご案内

1. ごあいさつ

みなさま、はじめまして。一般社団法人ベンチャーフレンドリープロジェクト代表理事を務めます田中宙（有限会社安久工機 代表取締役社長兼 CEO）です。2021 年春、「“ベンチャーフレンドリー”な人たちだけを集めて“モノづくりの天国”を作りたい」という思いつき一つから任意団体として活動して参りましたベンチャーフレンドリープロジェクトですが、**2026 年 9 月より一般社団法人ベンチャーフレンドリープロジェクト（VFPJ）**として正式に発足することとなりました。この歩みを、東京・大田から日本全国へと拡げていくために、今、法人として新たな一歩を踏み出します。

2. ベンチャーフレンドリープロジェクトとは

私たちは、「モノづくりを通じて世界に新しい価値を生み出し、人々に幸せをもたらそうとするすべての人」を“ベンチャー（冒険者）”と位置づけます。そのマインドを共有・共感する人同士の認知と交流を促進し、奇跡的な出会いを促すことで、この日本を、爆発的で革命的なイノベーションが絶えず巻き起こる「**モノづくり天国**」にしていく取組です。

“ベンチャー”とは、いわゆるベンチャー・スタートアップに限りません。

企業規模・事業年数・法人形態を問わず、その想いを持つすべての人を“ベンチャー”と定義します。

3. 私たちが解決したい課題 — 「出会えない」

私たちが解決したいのは、「**出会えない**」という課題です。

ベンチャーが新しい挑戦に取り組もうとしても、適切なパートナーが見つからない。とりわけ町工場をはじめとするモノづくり企業は、高い技術と独自の経験を持ちながら、それぞれに専門性や開発型案件に対する姿勢が異なり、しかもそれが可視化されず埋もれている状態です。「一緒にこの挑戦をしてほしい」と思えるパートナーを探すことが、とにかく困難。それだけの理由で新たな挑戦の目が途絶えてしまった事例は枚挙に暇がありません。

4. 私たちのアプローチ — 「可視化」

その解決の鍵として、私たちは「**可視化**」を重視します。誰がベンチャーフレンドリーなのか、その人に何ができるのかを可視化する。それによって出会いの機会と可能性を高め、奇跡的な出会いが生まれる“土壌”をつくっていきます。

5. 私たちが目指す世界 — モノづくり天国

私たちが目指すのは、「モノづくりの天国」です。

- ① **集まる** — 挑戦する人も、それを支える人も。ベンチャー、町工場、大企業、行政、金融、VC・CVC、研究機関——あらゆるプレイヤーが、立場を越えて集まる
- ② **出会う** — 挑戦に必要なすべて——アイデア、技術、資金、知見、制度、そして仲間——たがいに見つけ合い、結びつく
- ③ **形になる** — 必要な力がすぐに揃い、ひとつの構想が、速やかにカタチとなる
- ④ **挑む** — 失敗を恐れず挑み、うまくいかなければ笑い飛ばして糧となり、また次へ向かう
- ⑤ **生まれる** — 挑戦の積み重ねの中で、思いもよらぬ組み合わせが結びつき、新しい価値＝イノベーションが生まれる

そして、生まれた価値と熱が、さらに新たな人と力を惹きつけ、再び「集まる」へと還っていく。

この循環が、速く、大きく回るほど、日本はモノづくり天国に近づいていきます。

6. 一社 VFPJ の 4 つの役割

- ◆ **可視化する** … 誰がベンチャーフレンドリーで、何ができるのかを見えるようにする
- ◆ **つながる** … VF マインドを持つ人同士の交流と、奇跡的な出会いを生む
- ◆ **育てる** … 学びと実践を重ね、モノづくり天国を目指す仲間を育てる
- ◆ **広げる** … VF な事例とマインドを、日本全国へと広げていく

7. 「ベンチャーフレンドリー」を主軸とする初めてのコミュニティ組織

私たちはあえて「ベンチャーフレンドリー」というマインド、**挑戦を応援し共創を尊ぶ姿勢**に光を当てました。それに共感し体現しようとする人が集まる、おそらく日本で初めてのコミュニティです。マッチング代行でも共同受注でもない、「**我こそベンチャー、我こそベンチャーフレンドリー!**」と宣言する人を可視化し、自然発生的に繋がり、活躍できる場を創ります。

8. 主な活動

私たちの活動の中心は、会費制のコミュニティ運営です。会員が「つながり」「学び」「挑戦を見せ合い」「外へ広げていく」——VF の 4 つの役割に沿って、多彩な活動を重ねていきます。

- **つながる**（会員同士が出会い、深め合う） … 交流会、懇親会、ベンチャーとの壁打ち座談会、見学会
 - **育てる**（学び、成長する） … 勉強会、研修会、講演会、視察会
 - **見せる・称える**（挑戦を可視化する） … ピッチ大会、アワード表彰、展示会への共同出展
 - **広げる**（社会・外へ広げていく） … VF ブランドの広報活動、他団体との交流、行政機関との意見交換
- 生まれたばかりの団体として、これらを一つずつ形にしていきます。

9. これまでの歩み

私たちは任意団体として、大田区産業振興協会主催の「ベンチャーフレンドリー塾」を約4年にわたり共同で企画・運営してきました。塾には120名を超える会員が集まり、VFマインドの輪は着実に広がっています。またVF活動を通じて様々な人達が出会い、プロジェクトが生まれ、新たな連携とイノベーションが生まれています。私たちが支援したベンチャー企業の中には、大手メーカーの出資を受け、プロダクトの共同開発を行い大きなオープンイノベーションに発展した事例もあります。こうした中小企業とベンチャーとの“マイクロオープンイノベーション”が盛んに行われることで、魔の川と死の谷を共に乗り越え、ダーウィンの海という大海原を今よりももっと豊かにする。そのために、私たちは今、法人として次のステージへ進みます。

10. 会員制度

種別	こんな方に	月会費（+税）	公開会員リストへの掲載
① 団体会員	会社・団体・組織・グループ（法人格は不問）として、2名以上で参加	10,000 円 （1口5名まで）	○ 団体名を掲載（ご希望で個人名も）
② 団体シングル会員	個人事業主・フリーランス、または団体から1名で参加	5,000 円	○ 団体名・屋号を掲載
③ 個人会員	所属をリスト公開せず、一個人として関わりたい（例：学生、企業に勤めながら自主的に参加など）	3,000 円	✕ 非公開。会員検索にも載りません

VFの中核価値は「可視化」です。①②は公開リストに載り、出会いにつながります。③は所属や氏名をリストに公開せず、身軽にご参加いただけます（掲載を希望される場合は①・②へ）。「VFの仲間になることで、VFのHPや会員リスト上で見つけられるたい」という意向の方は①又は②をご選択下さい。

※ ③でも登録時に所属先を伺うことがありますが、理事・事務局のみが参考として扱い、公開会員リスト・会員検索の掲載対象にはいたしません。

- **共通特典：**各種 VF ロゴ・ブランドの自社利用、展示会等への共同出展、会員限定イベント・優待、オンラインコミュニティへの参加 など

11. 役員及び運営体制

- **代表理事：**田中 宙（有限会社安久工機 代表取締役社長兼 CEO）
- **副理事：**鈴木 亮介（株式会社極東精機製作所 代表取締役社長）
- **理事：**藤野 晴久（有限会社安久工機）
- **理事：**脇田 長良（株式会社東京ブルーハーバー 代表取締役
一般社団法人 waum ookayama 代表理事）
- **コミュニティマネージャー：**宮崎 真生子

12. これからのスケジュール

- 2026 年 10 月 21 日（水）：第一回ベンチャーフレンドリー大会（羽田 PiO PARK）
- その他のイベントは月 1 ～数回程度を目安に随時企画開催してまいります

13. 入会・お問い合わせ

VF マインドに共感し、この場を一緒につくってくださる仲間を募集しています。

会員登録を含む今後の活動に関しては、準備が整い次第 VF メルマガ（登録無料）にて随時ご案内いたします。

下記の公式ページ QR コードよりぜひ VF メルマガにご登録下さい。

また公式 LINE への友達登録もよろしくお願いします（正式な会員登録とは異なります）。



公式ホームページ



公式 LINE

お問い合わせ：一般社団法人ベンチャーフレンドリープロジェクト 事務局（担当：藤野）

E-mail：info@vfpj.org

公式 HP：<https://vfpj.org/>

一般社団法人ベンチャーフレンドリープロジェクト
代表理事 田中 宙

